

いたばしNo.1実現プラン（中間のまとめ）に対するパブリックコメント（意見）

募集期間：平成19年12月15日（土）～12月28日（金）

応募件数：3人9件（直接持参2人・ファックス1人）

（全体3件、計画編6件、改革編1件（改革編と重複））

	項目	意見の概要	区の考え方
1	全体	理想はよいが、やりたい項目数が多く実現可能性が低いのではと感じる。実施に必要な金額を区民に示し、区民から優先順位の希望を確認しながら実施すべきであり、もっと区民への働きかけを行って協働でやるべきである。	策定段階では、3か年の財政見通し、計画事業経費はすべて明示しております。区民の皆様のご理解とご協力を得ながら、「公開・評価・参加」の精神のもと、区民の皆様や各団体等と協働して、すべての項目の実現に全力で取り組んでまいります。
2	全体	本当にやる気のある区職員は半分くらいではないか。半数以上の職員は、自分の仕事とは思わないだろう。	改革編では組織風土全般にわたる改革の一つとして、職員・職場の意識改革を推進し、「No.1プラン」の実現に向けて、区の職員が全庁一丸となって取り組んでまいります。
3	全体	各項目に対して責任を持ち、主体的に指導しながらまとめていく課を決めるべき。各項目の相談窓口を区民に対してはっきりとわかるように示されたい。	各項目の主管課が責任を持って実行し、区民に対する説明責任等を果たしていく窓口となります。また、政策企画課が事務局となって、「No.1プラン」の進行管理と達成状況についての評価・見直しとその公表を行います。
4	計画編 [071] 市街地再開発事業の推進 (1)上板橋駅南口駅前地区	「上板橋南口再開発事業」がマニフェストにも示されているが、なぜ今再開発が必要か、というビジョンが示されていない。	当地区の再開発については、地元権利者の方々と災害時の危険性が高い木造密集地域の改善や、商店街の活性化などを目的として取り組んでいます。
5	計画編 [071] 市街地再開発事業の推進 (1)上板橋駅南口駅前地区	防災のための道路用地の確保、駅前広場と駐輪場の確保のためであれば、第一種再開発事業よりも、もっとよい方法があるのではないかと。	都市基盤の整備と建物の不燃化による防災性の向上や住環境の改善、商業施設の整備による商店街の活性化を図るため、その実現には一体的なまちづくりが必要であり、地元の方々が主体となって事業を行う第一種再開発事業が望ましいと考えます。
6	計画編 [071] 市街地再開発事業の推進 (1)上板橋駅南口駅前地区	都市計画決定から3年が経ち、同意が8割に達していない現状では、住民のニーズに合っていないのではないかと。多くの権利者の同意を得ずに強引に再開発を進めようとすることに疑問を感じる。	現状においては、準備組合とともに目標実現に向けて努力している過程で、今後、組合設立、権利変換という取り組みの中で、未同意の権利者の不安や不満を段階的に解消していきたいと考えています。
7	計画編 [071] 市街地再開発事業の推進 (1)上板橋駅南口駅前地区	再開発同意者と未同意者との間に対立が深まっており、「心の豊かなふれあいと活気のあるまち」というコンセプトとはかけ離れた状況である。上板橋駅前に「いきがい」と「ふれあい」が再び戻ることを熱望する。	この事業の推進方針は、「全ての権利者の相互理解と賛同」「だれもが住み続けることのできるまちづくり」であり、この考えが再開発を進める上での基本と考えています。

	項目	意見の概要	区の考え方
8	計画編 [071] 市街地再開発事業の推進	<p>「No.1プラン」には載っていないが、成増駅北口第三地区が20年以上前から再開発検討地区となっている。ついては、下記の2点について、区の考え方を公表していただきたい。</p> <p>(1)成増北口第三地区を、再開発地区として「1プラン」に含める、再開発地区から除外する、再開発地区の範囲を再検討する、のいずれかを示されたい。</p> <p>(2)成増北口第三地区を今後も検討地区として保留するならばその根拠を示されたい。</p>	<p>現時点では、第三地区の具体的な事業の予定はなく、再開発事業に伴う規制や指導も行っていないが、再開発事業に対する機運が高まった段階で地元権利者と話し合い、事業実現に向けた作業を進める予定です。</p>
9	計画編 [071] 市街地再開発事業の推進 (1)上板橋駅南口駅前地区 改革編 職員意識改革の取り組み	<p>区職員は、区の論理で一度動き出した再開発事業はどんなに理不尽・不条理でも進めなくてはならないと考えている。「区職員の意識改革」というコンセプトとはかけ離れており、反対派住民の意見を聞こうとしない。</p>	<p>区職員は、準備組合や関係権利者との協働によるまちづくりの実現に向けて取り組んでおり、今後も住民の皆様の意見に積極的に耳を傾けていく所存です。</p>